

(2) Sarawak State Health Department

- 訪問日: 2018年12月6日
- MOHの地方局。
- 先方からは、約10名が参加。
- 先方より、プレゼンテーションがあった。下記の内容を含むものであった。
 - サラワク州には23の病院がある。
 - サラワク州にはレベルの異なるクリニックなどがあり、90%のプライマリヘルスケアはこれらの施設でカバーされている。
 - X線装置やエコーは、あるクリニックとないクリニックとがある。
 - ワンマレーシアクリニックは、簡単な診察室があるのみ。医師はいない。
 - 車両、船舶、ヘリコプターによる、Mobile health teamもあり、ヘリコプターは5機ある(3機は緊急医療用。2機は災害時用)。
- 先方より、「シンプル医療機器」のニーズについてコメントがあった。下記の内容を含むものであった。
 - (ポータブルX線装置について)ポータブルである、停電があっても使えるという機器には関心がある。
 - スクリーニング目的のPOCTの需要がある。使用者は医師ではない医療従事者である。
 - 検体として喀痰を使う結核検査の機器が欲しい。血液を使うものは高価だと思う。
- 先方より、医療機器の調達について説明があった。下記の内容を含むものであった。
 - 毎年12月に、クリニックも含めた各医療機関が、購入希望のある機器を優先順位付けしてリスト化し、地方局に提出する。
 - 地方局は、優先順位を付け直し、MOHに提出する。地方局が独自の判断として、地域内で導入すべき医療機器を要求することもある。
 - MOHは要望を踏まえ、調達の実行可否や可の場合の予算額について地方局に承認を与える。
 - 金額に応じた調達を実施する。
 - MOHが全国の分を一括で調達することもある。
 - 地方局では、委員会が技術的側面の評価と価格の評価をそれぞれ独立して実施し、その結果を助言としてFFO (Federal Finance Sarawak)に伝える。すなわち、メーカーを直接、指名しての購入はできない。
 - 購入判断はFFOが行う。